令和４年第４回さつま町議会定例会　一般質問通告書

令和４年１２月５日（１～５番)、６日（６～１０番）

順番	(議席番号) 質 問 者	質 問 事 項 ・ 要 旨	答 弁 を 求める者
1	（１２） 岸良　光廣	**１　行政改革について** (1) 町民の安心・安全・生命・財産を守る上で、今後、消防団の必要性は、ますます重要になると考えるが、町長の考えを伺う。 (2) 本町の人口減少のスピードは、国の人口調査会等の説明よりはるかに早くなっているが、今後１０年先を考えた場合、定員管理も含めいろいろ見直しが必要と考えるが、町長の考えを伺う。	町　　長
2	（３） 上囿　一行	**１　安全で安心して暮らせるまちづくりについて** 町道の維持管理で草払いや側溝の土砂除去に取り組んでいるが追いつかない状況である。 今後の町道における維持管理の在り方について問う。 **２　人口減対策について** (1) 産み、育て、安心して暮らせるまちづくりについて、町長独自の施策を問う。 (2) 空き家の有効活用、方策・施策について問う。 (3) 人口維持と企業誘致について問う。	町　　長 町　　長
3	（２） 平山　俊郎	**１　道路の交通安全対策について** 道路における「交通安全対策」の一環である白線のある道路が、消失又は摩耗しており危険であるとの声を聞く。特に高齢者から「夜間、特に雨天時に白線が見えないと路外逸脱や対向車線にはみ出すなど危険である」等の声があることから、道路の実態について調査したところ、白線の消失や摩耗している道路が多く見受けられた。 そこで白線の消失対策などに関して、次のことについて問う。 (1) 町道の白線の消失について、全体の実態の把握がなされているのか。これまで各地区から改善などの要望があったのか。あったとすれば、それに対しての改善はどの程度なされているのか。 (2) 町道以外の県道等についても、白線の消失などが多く見受けられるが、関係機関団体等に町から改善等の要望はできないのか。 **２　平川地区における異臭問題について** 平川地区（特に下平川・大薄上）では、数年前から牧場の糞尿による異臭に大変困っており、本年６月に地域住民の苦情・	町　　長 町　　長

順番	（議席番号） 質 問 者	質 問 事 項 ・ 要 旨	答 弁 を 求める者
		要望に基づいて、異臭場所への立入調査を実施されているが、次のことについて問う。 (1) 調査結果と結果に基づく行政指導の内容及びその後の改善効果は。 (2) 行政指導による改善内容を踏まえ、今後業者に対してどのように指導していくのか。	
4	（１４） 川口　憲男	**１　農林業の活性化について** (1) 林業の活性化をどのように捉えているのか考えを問う。 (2) 森林は、防災面や脱炭素社会の実現など、非常に重要な役割を担っている。 　国や民間における、森林の多面的機能の維持・継続に対する取組をいかに捉え、推進を図る考えか。	町　　長
5	（１１） 古田　昌也	**１　ローカルブランディングについて** (1) 鹿児島銀行に委託してローカルブランディングを行っているが、進捗状況はどのようになっているか。 　また、ローカルブランドを認知してもらうために、どのように発信していくのか。ブランディングの今後の計画は。 (2) 約５年前も同じようなローカルブランディングを行ったと記憶しているが、その時の結果と再度実施することになった経緯は。 (3)「薩摩のさつま」は、町、ＪＡ北さつま、町商工会、町特産品協会と団結して進めているところであるが、現在進めているローカルブランディングと「薩摩のさつま」との違いは何か。 **２　災害復旧について** (1) 令和３年度豪雨災害における公共災害復旧の進捗率や発注率などは、どのようになっているか。 (2) 町単独事業や維持補修等の復旧を含め、全町的な復旧に向けた問題点とそれに対する改善策は。 (3) 道路における小規模災害や維持作業などは、道路整備作業員が対応しているが、慢性的な人員不足が見られ、各地域でも高齢化や働き手不足が顕在化している。 　災害復旧を優先するのは当然であるが、地域からも補修等の要望が多くなっているため、作業員の増員や給与改善、効率化のための機械導入など、具体的な方策を行う考えはないか。 **３　あなたも１日議員について** 　１０月に開催された「あなたも１日議員」の質問事項について、課内又は課を超えた横断的な検討を行い、実施に向けた予算化などを協議したか。	町　　長 町　　長 町　　長

順番	（議席番号） 質 問 者	質 問 事 項 ・ 要 旨	答 弁 を 求める者
		検討・協議を行ったのであれば、その内容はどのようなものか。	
6	（７） 森山　　大	１　子どもを主体とした政策づくりについて 政府は、来年４月に「子ども家庭庁」を設置し、子どもを主体にした政策づくりに乗り出すといわれている。子どもを取り巻く課題は、虐待や貧困、少子化などの問題が深刻化する中、当事者の声をどのように吸い上げるかだと考える。 日本は、１９９４年に「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」に批准したが、今まで有効な対策が取られないまま子どもを取り巻く状況は年々悪化している。また２０２０年度の不登校の小中学生は約１９万６，０００人、児童虐待数は約２０万５，０００人で、いずれも過去最多である。 本町において、このような課題についてどのように解決していく考えか。 ２　子どもの自殺対策について 学校では２学期が始まって早くも３か月が過ぎたが、９月から１１月までの時期は、勉強や人間関係の悩みを背景に、子どもの自殺が増える傾向にある。 最近は新型コロナウイルスの感染状況により生活環境が変化しており、家庭はもちろん地域や学校で子どもたちの些細な変化を発見し、「助けて」という心の声をキャッチすることが重要だと考える。 厚生労働省によると、２０２０年の小・中・高校生の自殺は過去最多の４９９人であり、コロナ禍の一斉休校で孤立感が深まったことが一因とされている。月別に見ると、８月が６５人で最も多く、９月も５５人であり、長期休業後の学校再開が精神的な負担になっている可能性が高いが、子どもの自殺問題についてどのように考えているか。	町　　長 教 育 長
7	（６） 上別府ユキ	１　婦人科検診受診率向上について 女性特有の乳がん・子宮がんなどを早期発見するため、婦人科検診の受診率向上に向けてどのように取り組んでいるか。 ⑴ ワンコイン検診・節目検診・土曜日検診など、検診の機会を増やして様々な対策を図り、３か年計画で事業を進めているが、その手ごたえはどうであるか。 ⑵ 令和２年男女共同参画第５次基本計画の中で、乳がん・子宮がんなどの婦人科検診を受診しやすい環境整備をうたっているが、さつま町役場女性職員の婦人科検診の受診状況は把握できているか。 ２　学校の樹木の管理について 今年８月に曽於市立の小学校でイチョウの大木の枝が折れ	町　　長 教 育 長

順番	（議席番号） 質 問 者	質 問 事 項 ・ 要 旨	答 弁 を 求める者
		て落下し、校長が下敷きになり死亡した事故を受け、学校では樹木管理の安全点検が行われたと思うが、その経過について問う。 (1) ９月から１０月にかけて、町などで行った安全対策はどのようなものか。 (2) １１月に樹木専門医がそれぞれの学校で診察を行ったと思うが、その結果を受け、今後行っていく安全対策はどのような計画であるか。	
8	（5） 中村　慎一	**1　これまでの一般質問での回答に対する取組について** (1) 町の地域公共交通における乗合タクシーの運行について (2) ２０２５年問題における介護保険事業所、社協への支援について (3) 中山間地域における農福連携による集落支援の取組への支援、単独加算制度等について **2　町勢振興の取組について** (1) ＳＤＧｓとゼロカーボンの宣言に係る具体的な取組は。 (2) 道路の維持管理について、景観行政団体として国・県・町道を問わず、まちづくりの観点に景観・美観をいかした取組を進める考えはないか。	町　　長 町　　長
9	（１０） 有川　美子	**1　みどりの食料システム戦略について** 農林水産省が令和３年５月に策定した「みどりの食料システム戦略」について、本町の考えを問う。 (1) 本町の有機農業の現状について示されよ。 (2) 本町は、みどりの食料システム戦略をどのように捉えているのか。 今後取り組む考えはないか。 **2　高齢者の健康増進における支援者育成について** 本町は高齢者向けサロン・ころばん体操などの高齢者の健康増進について取り組まれる地域・団体が多くあり、一定の効果もみられている。しかし、支援者側の高齢化による活動継続への不安や、担い手不足という従来の仕組みの中で解決できていない課題が、コロナ下で顕在化したことにより活動中止を考えている団体もあるようだ。 本町は、このような支援者からの不安や要望を把握しているのか。 また、今後の支援者及び指導者の育成についての考えは。 **3　通学バスの安全管理と今後について** １０月に求名地区から宮之城中学校への通学バスが、遅れてきたそうだ。更に到着後には、運転手が乗降ドアの開閉ができず、通りかかった保護者が急遽学校へ送ったというトラブルが	町　　長 町　　長 教育長

順番	（議席番号） 質 問 者	質 問 事 項 ・ 要 旨	答 弁 を 求める者
		発生した。 　このことを踏まえて問う。 (1) この件について学校や教育委員会は、状況把握をしたのはいつか。 　また、この件をどのように受け止め対応をしたのか。 (2) 運転手への研修や指導内容および業務連絡等の体制は。 (3) 中学校並びに小学校の通学バスの運行課題を解決する体制は。 **４　住宅改修等費用助成について** 　令和４年３月定例会にて質問した、在宅介護における住宅改修等の費用助成について、償還払いのほかに受領委任払いを選択できるように準備を進めていきたいとの回答であった。 　進捗状況はどうか。	町　　長
１０	（８） 新改　秀作	**１　本町出身画家の周知について** 　本町出身で日展審査員や日展評議員を務め、武蔵野美術大学の講師であった画家がおり、日本画家として有名な方であるが、地元での知名度は低い。 　作品の展示等を行い、広く町民に周知する考えはないか。 **２　ふるさと文化教育について** 　本町出身者の中にも文化面で貢献した人たちがいる。 　自分たちの町を知るうえでも、「ふるさと文化教育（仮称）」として学校等で取上げ、子どもたちに学びの機会を与える考えはないか。	町　　長 教 育 長